



小さなうっかりが大きな火災に ～「製品による建物火災」～

1. 事故の発生状況

2017年度年から2021年度の間、NITEに通知のあった製品事故情報^{※1}のうち、九州・沖縄8県で建物火災^{※2}の件数は、合計33件^{※3}ありました。

(1) 県別および年度別事故発生件数（表1）

表1 製品による建物火災の県別および年度別事故発生件数（2017年度～2021年度）（単位：件）

発生年度	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
2017年度	0	3	6	0	0	0	0	0	9
2018年度	2	1	3	0	0	1	0	0	7
2019年度	4	0	1	1	0	1	0	0	7
2020年度	3	1	3	0	0	1	0	0	8
2021年度	1	0	0	0	0	1	0	0	2
合計	10	5	13	1	0	4	0	0	33

※1:消費生活用製品安全法に基づき報告された重大製品事故に加え、事故情報収集制度により収集された非重大製品事故やヒヤリハット情報（被害なし）を含みます。

※2:本資料では、住宅や店舗などの建物が半焼または全焼した火災を「建物火災」としています。

※3:重複、対象外情報を除いた事故発生件数です。

(2) 県別および被害状況別事故発生件数（表2）

表2 製品による建物火災の県別および被害状況別事故発生件数（2017年度～2021年度）（単位：件）

被害状況		福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
人的被害	死亡	3	1	5	0	0	1	0	0	10
	重傷	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	軽傷	1	0	1	0	0	0	0	0	2
拡大被害 ^{※4}		6	4	7	1	0	3	0	0	21
合計		10	5	13	1	0	4	0	0	33

※4:NITEでは、製品本体のみの被害（製品破損）にとどまらず、周囲の製品や建物などにも被害を及ぼすことを「拡大被害」としています。

(3) 県別および製品別事故発生件数 (表 3)

表 3 製品による建物火災の県別および製品別事故発生件数 (2017 年度～2021 年度) (単位: 件)

製品名	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県	大分県	宮崎県	鹿児島県	沖縄県	合計
エアコン	2	1	1	0	0	0	0	0	4
ガスこんろ	2	0	1	0	0	1	0	0	4
石油ストーブ	1	2	0	0	0	1	0	0	4
電気ストーブ	1	0	2	0	0	0	0	0	3
こたつ	0	0	2	0	0	0	0	0	2
石油ファンヒーター	0	0	2	0	0	0	0	0	2
電気掃除機	1	0	0	1	0	0	0	0	2
配線器具	0	1	1	0	0	0	0	0	2
冷凍庫	1	0	0	0	0	1	0	0	2
ガスふろがま	1	0	0	0	0	0	0	0	1
テレビ	0	0	1	0	0	0	0	0	1
バッテリー・電池	0	0	0	0	0	1	0	0	1
照明器具	0	0	1	0	0	0	0	0	1
石油こんろ	0	0	1	0	0	0	0	0	1
石油給湯機	0	1	0	0	0	0	0	0	1
電気ファンヒーター	1	0	0	0	0	0	0	0	1
電気乾燥機	0	0	1	0	0	0	0	0	1
合計	10	5	13	1	0	4	0	0	33

2. 製品による建物火災による事故事例

(1) 2020 年 2 月 (熊本県、40 歳代・女性、拡大被害)

【事故の内容】

電気掃除機を充電中、建物を全焼する火災が発生した。

【事故の原因】

取り付けられていた非純正バッテリーからの延焼により焼損したものと考えられる。取扱説明書には、「出火のおそれがあるため、専用のバッテリー以外は使用しない。」旨、記載されている。

(2) 2020 年 11 月 (長崎県、80 歳以上・男性、拡大被害)

【事故の内容】

建物 1 棟を全焼、2 棟を類焼する火災が発生し、現場に石油ファンヒーターがあった。

【事故の原因】

灯油の樹脂製容器内からガソリンが検出されたことから、ガソリンを誤給油し、異常燃焼が生じて出火したものと推定される。

3. 事故の実験映像について

事故の実験映像及び写真をご希望の場合は、下記の問い合わせ先までご連絡ください。

なお、映像をご使用の際、クレジットは「製品評価技術基盤機構」+「NITE のロゴ」としてください。

(本件に関するお問い合わせ先)

〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原 2-1-28
 独立行政法人製品評価技術基盤機構
 九州支所 担当者 篠崎

電話:092-551-1315 FAX:092-551-1329